

| | | | |
|---|-------------------------|-------------|-------------------------------------|
| 授業科目名： 英語総合（Listening & Speaking） | 教員の免許状取得のための 選択科目 | 単位数： 2単位 | 担当教員名： 森直樹、本純佳 担当形態： オムニバス |
| 実務内容 （実務家教員の場合） | | | |
| 科 目 | 教科及び教科の指導法に関する科目 | | |
| 施行規則に定める 科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項 英語コミュニケーション | | |
| 「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力） | | | |
| 授業のテーマ及び到達目標 英語科教員に必要な「聞く」及び「話す」能力、また、英語科教員に必要なプレゼンテーションを中心とした英語表現スキルをみがく。 ※受講推奨レベル CEFR B1～B2（ただし、この範囲外でも受講は可能） | | | |
| 授業の概要 e-learningを通して、英語科教員に必要な「聞く」及び「話す」の能力を身につける。スクーリングでは、プレゼンテーションの方法を学び、必要な情報を集めて英語による原稿を作成する。実際にプレゼンテーションを行い、担当教員及び受講学生間で相互評価を実施する。また、自身のプレゼンテーションを振り返ることを通して、自身の英語表現のスキルアップを図る。 | | | |
| 授業計画 第1回：本授業の学び方 第2回：動詞と時制、日常生活（e-learning） 第3回：動詞と時制、ビジネス（e-learning） 第4回：名詞句、旅行と交通（e-learning） 第5回：名詞句、余暇と娯楽（e-learning） 第6回：形容詞と副詞、テクノロジー（e-learning） 第7回：前置詞、社交と対人関係（e-learning） 第8回：疑問文、社会と政治（e-learning） 第9回：接続詞、自然と環境（e-learning） 第10回：語の形成、日常生活（e-learning） 第11回：文構造、ビジネス（e-learning） 第12回：構文、旅行と交通（e-learning） 第13回：プレゼンテーションの基本を学ぶ。列挙型プレゼンテーション、問題解決型プレゼンテーション 第14回：報告型プレゼンテーションの実践 第15回：説得型・提案型プレゼンテーションの実践 | | | |
| スクーリングでの学修 スクーリングでは第13回～第15回を行う。 | | | |
| テキスト 【e-learning教材】『星槎大学 Practical English 8 英語総合Listening & Speakingコース』 3,080円（税込） ※履修年度内有効（再履修は再度同額を支払う）、e-learningのアクセス権の購入・利用登録・学修は4月上旬から可能（方法は3月下旬にGoogle Classroomで告知） | | | |
| 参考書・参考資料等 チャールズ・ルポー（著）『英語プレゼン最強の教科書』コスモピア, 2020 978-4864541541 クリス・アンダーソン（著）関美和（訳）『TED TALKS スーパープレゼンを学ぶ TED 公式ガイド』日経 BP 社, 2016 978-4822251659 | | | |
| 学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%） | | | |